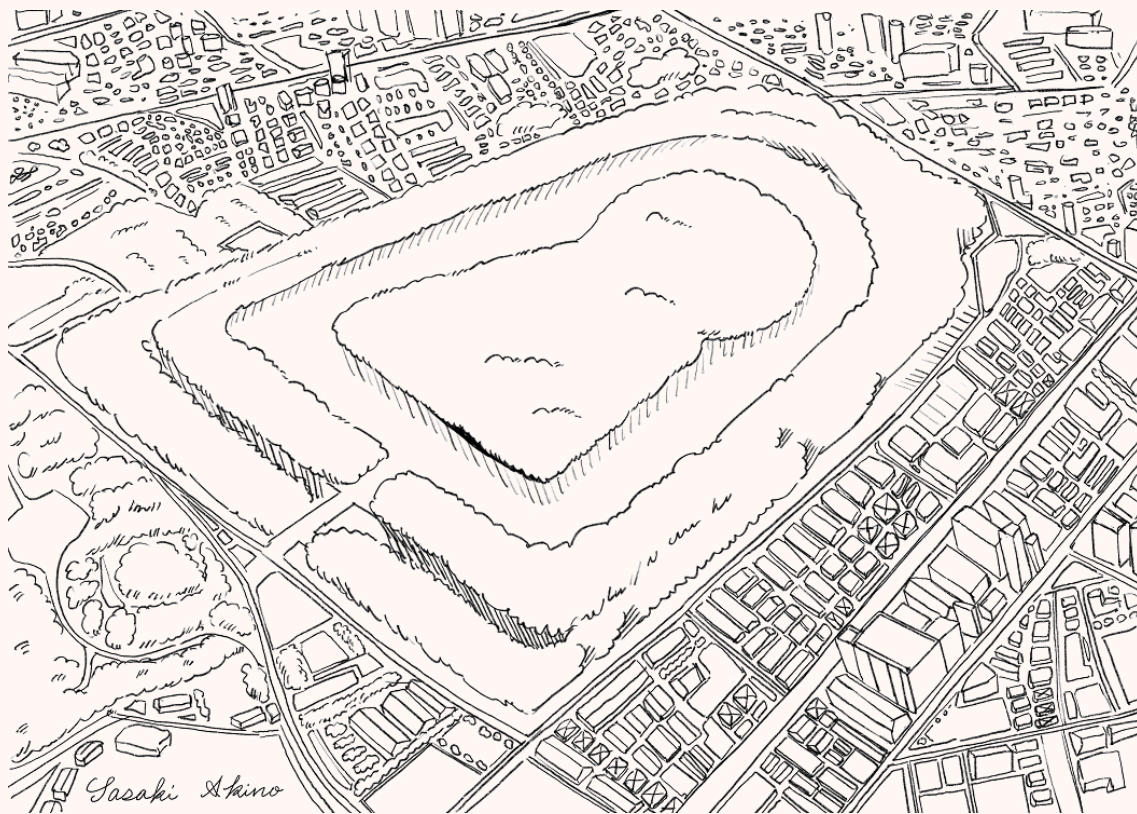
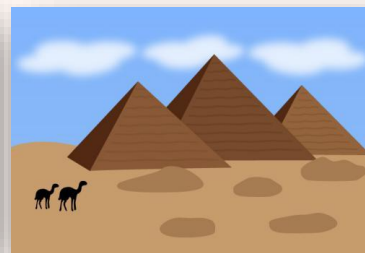


これ何だ？ -その1-

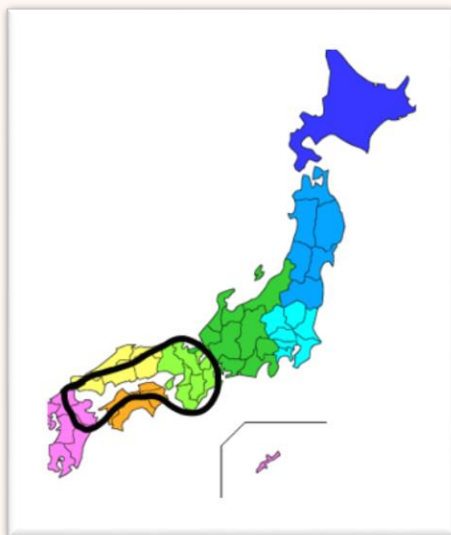


(Drawn by Akino SASAKI)

これが何だかわかりますか？ 公園でしょうか。だれかの家でしょうか。それとも宇宙人が作ったもの？ いいえ、どれも違います。これはむかしむかしのお墓です。人が死んだとき、この中にその人をうめます。大昔のお墓のことを古墳と言います。



昔は、死んだ人はみんな、古墳にうめられたので
しょうか？ 日本では、家族で1つのお墓に入ります。
古墳は大きいので、えらい人のものでした。古
墳にうめられるのは、えらい人とその家族だけ
です。えらい人の家族のことを豪族と言います。豪族
は、ある町でとても強い力を持っていました。特別な家族だったので、死んだ後
で、古墳に入ることができたのです。



近畿から瀬戸内海沿岸

では、古墳は、いつできたのでしょうか？
500年前？ 1000年前？ 古墳は、3世紀（201
～300年）の終わりごろからつくられました。
始めは、近畿から瀬戸内海沿岸などにつくら
れました。その後で、他の場所でもつくられま
した。今でも日本各地に古墳が残っています。
特に大阪や奈良などにはたくさんあります。

では、次の読み物で古墳の大きさと形について見てみましょう。

(443字)

(2021.11 Written by Wakiko FUTAKUCHI)

<参考資料>

・「国づくりへの歩み」『小学社会 6上』教育出版



この作品はクリエイティブ・コモンズ 表示 - 非営利 - 継承 4.0 国際 ライセンスの下に提供されています。この作品を利用する場合は、「たどくのひろば」を出典として示してください。

例) 出典: 「たどくのひろば」 (<https://tadoku.info>)

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License. When you use this work, please indicate the source as in the example above.